事業番号	156

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	子ども会活動支援事業							担当部	こども未来部	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業以外				担当課	こども政策課	
	事業期間	平成12年度以前 ～ 平成31年度以降							担当係	青少年育成係	
	総合計画分野別計画 主目的	3 教育・子育て 13 子育て支援 2 地域の子育て・子育ちを支援します									
	総合計画分野別計画 副目的									実施計画対象	
	予算区分	款	3	項	3	目	1	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	地区の単位子ども会活動を活性化することで、市子連への加入団体の増加を図る。									
	内容（手段）	◆26年度実施内容 単位子ども会活動の振興を図るため、子ども会活動に補助金を交付し、世話人研修会、こまキッズフェスタ、単位子ども会活動の活性事業等を実施した。 ◆26年度直接経費の内訳 イベントによる講師謝礼（564千円） 消耗品費（57千円） バス借上料（350千円） 子ども会連絡協議会補助金（1,755千円） ◆27年度直接経費の内訳 イベントによる講師謝礼（723千円） 消耗品費（100千円） バス借上料（460千円） 子ども会連絡協議会補助金（2,635千円）									
	受益者負担	無									

コスト				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
	費用	直接経費		千円	2,726	2,886	2,726	3,918
		正職員	従事者数	人	0.05	0.05	0.05	0.05
			人件費	千円	263	263	263	263
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	2,989	3,149	2,989	4,181
		対前年比		%		105.3	94.9	139.8
	財源	一般財源		千円	2,989	3,149	2,989	4,181
		国・県支出金		千円	0	0	0	0
		その他財源		千円	0	0	0	0

事業番号	156

業績

活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
子ども会連絡協議会開催数	回	目標	23	23	23	23
		実績	26	24	23	
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
こまキッズフェスタ入場者数	人	目標	4,000	4,000	3,000	2,000
		実績	2,500	2,000	2,000	
単位子ども会数	単子	目標	60	60	60	60
		実績	56	54	50	

事業の自己評価

平成26年度の実施結果	事業の達成状況	こまキッズフェスタ入場者数は、目標値を達成することはできなかった。しかし、ジュニアリーダーの成果発表の場としてブース運営など、活躍の場が設けられるなど、青少年の健全育成を図ることができている。
	事業実施における課題	単位こども会の市子連離れは、会の運営上も大きな課題となっている。
	事業を縮小・廃止したときの影響	事業廃止をすることで、市内の子ども会活動は衰退する。
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	27年度は市子連設立50周年を迎えることになり、子ども会活動のこれまでを振り返ると共に、活動を広く市民に周知する目的で式典を開催する。式典開催時には、他の青少年活動団体との交流を行い、内容の充実を図る予定である。
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持　　事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	市子連の役員の負担軽減については、イベントの共催をはじめ、児童館臨時職員の配置など、各種手段を講じている。しかし、現状以上の経常的な経済支援の拡大は困難であり、現状維持とする。
	28年度以降の改善案	役員の負担軽減として行っているイベントの共催をはじめ、市子連を担当する臨時職員の配置を引き続き行い、支援を行う。 また、他市の状況も踏まえた活動のあり方について、市子連と協議・検討を行っていく。

二次評価

方向性の判定	判　定　理　由
維　持	一次評価のとおり。 市子連への加入する単位子ども会数が減少傾向にあることから、増加に向けた取組みや他市の状況も踏まえた活動のあり方について、市子連と協議すること。